PRESS RELEASE

No. 024

2011 年 10 月 7 日

株式会社エンティスの「デジタルテロッパ」が「RSS」に対応

～ブログシステムを利用してメールで更新するサイネージシステムも構築可能に～

最新のデジタル AV コンテンツ配信ソリューションとコンポーネントを提供する株式会社エンティス（本社：東京都中央区・代表取締役：花田友章、URL:http://www.entis.co.jp/、以下エンティス）は、インターネット経由で取得した文字情報をデジタルハイビジョン TV（フル HD 対応）の画像にリアルタイムに重ね合わせて表示できるネットワークライブテロッパー「デジタルテロッパ EN-NL1068」（好評発売中）が、ニュースやブログなどの更新情報の配信に用いられている文書フォーマット「RSS」の表示に対応したことを発表いたします。この「RSS」表示に対応するアップデートファームウェアは、2011 年 10 月 7 日より設定画面から入手可能となります。

＜EN-NL1068 本体及びリモコン＞

＜TV 画面上の RSS 表示イメージ＞

「デジタルテロッパ EN-NL1068」は、HDMI でデジタル接続したデジタルハイビジョン TV（フル HD 対応）の画像にインターネット経由で取得した文字情報をリアルタイムに重ね合わせて（オーバーレイ）表示できるセットトップボックス（STB）です。「ニコニコ実況」、「2 ちゃんねる」のコメント、「Twitter」のツイートといったコンシューマ向けサービスとの連携によりテレビ放送に対してコメントを表示、共有するソーシャル TV 機能をいちはやく提供してきました。

今回、ブログサービスの更新情報の配信に用いられている「RSS」の表示に対応したことで、お気に入りのブログの記事タイトルをテレビ画面上で確認することができます。

また、CMS など RSS 出力をサポートしている各種サーバアプリケーションと連携させることで任意のメッセージをテレビ映像に重ね合わせて表示できるテキスト情報中心のデジタルサイネージシステムを容易に構築できます。

メッセージは画面の上下いずれかに固定表示する字幕表示方式と右から左にメッセージが流れるスクロール表示方式に対応しており、用途に応じて選択することができます。

エンティスではデジタルテロッパと低価格化著しいデジタルハイビジョンテレビとの組み合わせによる、オンライン情報表示システムの構築に当たってサポート体制を拡充しており、すでにインターネット上に文字情報データベースを構築されている事業者様向けには、システムの仕様に合わせたカスタムファームウェアの提供や受託開発も承っております。

以上の取り組みにより、エンティスでは「デジタルテロッパ EN-NL1068」を、一般消費者向けの実況放送デバイスとしてだけでなく、家庭用テレビやモニターと組み合わせることができる安価なオンライン情報表示端末として、小規模店舗から複数店舗、公共施設、公共団体などにも幅広く展開していきます。

＜EN-NL1068 RSS 対応の特長＞

最大 32 個までのフィードタイトルを表示可能

「デジタルテロッパ EN-NL1068」の新しいファームウェアでは、多くのブログサービスでサポートされている RSS1.0、RSS2.0、Atom に対応しており、各 Web サイトのフィードから<title>タグ部分を抜き出し、テレビ画面上に表示することができます。フィードタイトルは最大 32 個（※）まで後方から前方の（一般のブログシステムでは古い日時のフィードから新しい日時のフィードの）順に 1 個ずつ表示されます。

※表示数を 32 個未満にしたい場合はサイト側のフィードを削除するなどしてフィード数を調整する必要があります。

2 つの表示方式に対応

「デジタルテロッパ EN-NL1068」は、取得した文字情報を画面の上下いずれかに固定表示する字幕表示方式と右から左にメッセージが流れるスクロール表示方式に対応しています。特に字幕表示方式には黒背景あり/なしおよび透過効果設定もできるため、テレビ映像に重ねても見やすさを損ないません。

サーバアプリケーションと連携させてデジタルサイネージシステムを構築可能

「デジタルテロッパ EN-NL1068」は、WordPress、MovableType といった RSS 出力をサポートしている CMS など各種サーバアプリケーションと連携することで、任意のメッセージをテレビ映像に重ね合わせて表示できるテキスト情報中心のデジタルサイネージシステムを容易に構築できます。
サーバアプリケーションの設定によっては、メッセージの変更をメールから行ったり、複数の遠隔地に配置されたデジタルテロッパから出力されるメッセージを同時に変更したりすることもできるクラウド型デジタルサイネージシステムを構築することも可能になります。

＜アップデートについて＞

「RSS」表示対応の追加は、ファームウェアのアップデートによって提供されます。新しいファームウェアは 2011 年 10 月 7 日より無償でダウンロードでき、アップデート作業はホームネットワーク上のパソコンのブラウザでデジタルテロッパの管理画面から行います。

今後のユーザー支援に関して

エンティスでは今後も「デジタルテロッパ EN-NL1068」の使い勝手や機能、表示品質の向上を図っていきます。
デジタルテロッパの業務向けの活用事例やアプリケーション、サンプルプログラムの開発を後押しするために、情報交換のためのフォーラムサイト（http://forum.digitaltelopper.com/）を開設しております。
また、デジタルテロッパを活用して文字情報を配信したいという企業や団体向けには、システム仕様に合わせたカスタムファームウェアの提供や端末の開発を行っております。

【今後の展開】

インターネット経由で取得した文字情報をデジタルテレビ放送の映像に重ね合わせることができるデジタルテロッパは、コンシューマ向けに留まらず、オンライン情報表示端末などの業務用途、地方自治体や NPO などによる独自文字放送などの展開もサポートしていきます。

PRESS RELEASE

株式会社エンティス について

株式会社エンティスは、ネットワーク回線の高速化に伴う映像のネットワーク配信の増大や薄型大画面 TV、地上波デジタル放送の普及による急速な画像の高画質化に対して、デジタル機器やコンテンツ配信市場の豊富な経験、ノウハウとビジネスネットワークを活かし、理想の映像配信ソリューションや機器の設計開発をして参りました。今後もさまざまな環境に対応し、それぞれのメリットを最大限に生かせる機器とソフトウェア、ネットワークの企画、開発、販売に注力し、ビジネス向け、またはコンシューマ向けに最適なソリューションの提供を行って参ります。

※本文書で述べられた製品および社名はそれぞれの所有者の商標または登録商標です。

本リリースに関するお問い合わせは
株式会社エンティス 03-5847-1313(代)
press@entis.co.jp

【参考資料】

＜EN-NL1068 の動作環境＞

ブロードバンドによるインターネット接続
HDMI 入力端子を持つテレビ（解像度 1920x1080pixel のフル HD 推奨）
HDMI 出力端子を持つ地上デジタル放送チューナー搭載機器（地上デジタル放送チューナー、各種レコーダー、CATV チューナーなど）
※D 端子、コンポーネントなどアナログ入出力端子は搭載していません

《各種設定の変更やファームウェアアップデート時》
Windows 7/Vista/XP 搭載のパソコン InternetExplorer8 以降

＜EN-NL1068 の一般仕様＞ ※今回追加された機能

対応 Web サービス
ニコニコ実況
2 ちゃんねる
Twitter
RSS※
WEB 設定によるカスタマイズ対応

テキスト表示設定

表示方式	字幕表示方式（黒背景あり/なし）/スクロール方式（右から左）
行数	最大 5 行
文字色	4 色（白、赤、緑、青）
文字サイズ	5 段階（サイズに応じて表示行数は自動的に変更されます）
表示位置	画面上部/下部を切替可能
文字透過度	10 段階（字幕表示方式で黒背景の場合は背景も透過となります）
文字影設定	右 4 段階/左 4 段階
スクロール速度（スクロール方式のみ）	10 段階で可変

音声/ビデオ入出力
HDMI x2 （1080i、720p、1080p、HDCP 対応）
ネットワーク
Ethernet 10/100 （DHCP サーバから IP アドレスを自動取得、固定 IP アドレス指定も可能）
各種設定
Web ブラウザ
電源
100～240V AC, 50～60 Hz
外形寸法
約 190 x 106.5 x 29.8mm（幅 x 奥行き x 高さ）
重量
約 350g

内容物
デジタルテロッパ本体
AC アダプター
リモコン（単 4 電池 2 本含む）
HDMI ケーブル
取扱説明書兼保証書